ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌　2023

Take free!

なび

3月号
vol. 193

「横ちゃんもよう」
横山 信明
（ビック・アイあーと工房みずのみば）

information

今月号の特集は
お休みです

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

ホッと落ち着ける純喫茶「喫茶 ピアノ」

喫茶店が好きだ。カフェではなく、昔ながらの喫茶店。珈琲の香りや珈琲を沸かすときのコポコポという音、タバコのシミ。決して広くない空間。これらをひっくるめて、癒される。そんな昔ながらの喫茶店が好きなのである。創業28年の喫茶店。私がお昼休憩でよくお邪魔するところ。いつも笑顔で出迎えてくれるご夫婦。私も自然と笑顔になる。6年前に今のところに移転してきてからは夫婦二人三脚で切り盛りしている。

前のオーナーが店を閉めると聞き、お客さんの来やすさを考えて移転してきた。開店は朝の5時半とかなり早い。私は未だ寝ている時間である。これも前の店の常連さんが来やすいように、とそのまま引き継いだそうである。お客さんへの優しさを感じた。

おすすめはナポリタン

お昼時、喫茶ピアノに入るといつもと変わらない夫婦の笑顔で迎えてくれた。私も思わずニコッと笑顔で「こんにちは！」と会釈。ここではよくカレーを注文するが、マスターのおすすめは「ナポリタン」。せっかくなのでナポリタンスパゲッティを注文した。作っているのは奥様である。

5分ほどでナポリタンが運ばれてきた。お皿ではなく鉄板だ。熱々の鉄板の上には、これまた熱々の出来立てナポリタンスパゲッティ。そしてコンソメスープがついてきた。

湯気から甘酸っぱいケチャップの香りが漂ってくる。スパゲッティと玉ねぎ、ピーマンを一緒に頬張る。美味い！香りと同じく甘酸っぱい味と、玉ねぎの甘さ、ピーマンのシャキシャキ感が見事にマッチする。

ここのナポリタンは目玉焼きが付いてくる。ただし、上にではなく底に敷かれてやってくる。最初のうちはそのまま食べて、やがて目玉焼きが絡んで味変が愉しめる。ひつまぶしのように。飽きることなくすぐに完食してしまった。一緒についてきたコンソメスープを飲むと、寒さで冷え切っていた身体が芯まで温まった。食後に淹れてくれるマスターのコーヒーはホッと気持ちも温める。

音楽といつまでも

この喫茶店にはピアノとギターが置いてある。マスターは元々夜のお店で演奏家として活動されていた。お客さんのリクエストで演奏するため、ＰＯＰＳや歌謡曲、演歌、クラシックと様々なジャンルが演奏できる。「そうか、昔の名残なんだな」と思っていたが、今は子どもに楽器の演奏を教え、時折ご自身も演奏しているそうである。

「やはり、音楽とはずっと関わっていきたい」とマスターは言う。私も昔は役者として活動していたので、いちど文化芸能の仕事に就くといつまでも関わっていきたいというマスターの気持ちはよくわかる。

珈琲を飲み終え、頭もすっきりしたところで席を立った。「ごちそうさま！」というと、マスターと奥さんがニコッと笑顔で「ありがとう」と返した。私もまた笑顔になり、「またホッとしたいとき来よう」って思いながらカランカランと鳴るドアを開けてピアノをあとにした。

文責：飯澤峰生

喫茶ピアノ
住　所：西成区出城3丁目4の14
営業時間：午前5時30分～午後1時
定 休 日：木曜日
電話番号：06-6567-2189

[沖田一志]E社のインクジェットプリンタ。2013年から継続販売の機種がついに販売終了。後継機種は旧機種のインクが使えるし、2014年にサポート終了したXpにも対応。これはE社の神対応。

[飯澤峰生]今月号から加わりました。東京育ちの大阪で10年過ごしてきました。新たな発見を楽しみに生きています。特に新しいお酒の発見があると喜びます。宜しくお願いします。

[谷口円]３時の休憩タイムを充実したものにするため、コーヒーを豆から淹れはじめました。これがむずかしい！店頭で試飲して買っても、同じ味にならない…。しばらく修行します。

[田岡秀朋]「この街(西成)に劣らず、フィリピン入管当局の収容所も訳ありの人には居心地が良いのか。」2月2日付『中日新聞』の「中日春秋」の一文。西成にかかわる人が傷つられたことを忘れまいと思う。

melody of Smiles

２月３日は節分を楽しみました。ティーチャーの節分や鬼の紙芝居が終わると、どこからか太鼓の音が…。すると突然赤鬼が現れた！「鬼は〜外！ 福は〜内！」子ども達は元気いっぱいに鬼を追い払いました♪

GCC Kids International School

まちの6畳2間（ろくじょうふたま）

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

余白の豊かさ

昨今、建物の建て替え工事が賑やかだ。このまちでも建築工事が目に付く。数年前の大型台風をきっかけに古い建屋が解体を余儀なくされた現場も見かける。筆者にはこのまちの路地を歩き回った時期がある。公私入り混じる息づかいを感じる空間が好き。歴史資源の多いまちは地域の防災計画を使って文化遺産として積極的に維持されるが、ふつうは建売住宅や高層建物に変わり、道幅を広げられ、安全・効率と引き換えに「そこにあったモノ」はなくなる。文化は？ 新旧住民の接点は？

「空き家」「まちづくり」という言葉を聞いて久しいが、空き地をチャンスに転換できないか。空白を余白と捉える。まちと人を繋ぎ直すために必要に応じて柔軟に用途をあてがえる空間として。防災広場や避難経路にもなる。近さ故の接点は文化を生む。地代の回収も分かるが、余白の豊かさに目を向けてくれることに期待したい。

（安田拓也）

時計がシンボルだった町屋の解体

［西原夏美］野良猫ちゃんにご飯あげたりする人に言いたい、あげるなら飼って最後まで幸せにしてあげてほしい。野良猫は家猫よりも命が短くて2〜3年しか生きれない。家猫は12〜18年全然違い過ぎる。

［西田吉志］今月の11日に部落解放同盟西成支部結成70周年記念集会が開催される。コンセプトは「つながり続ける」。地域の子どもや若者が中心の西成発和太鼓集団の初舞台がすごく楽しみ。

些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成にたどり着いていた、或るオタクのてっちり系コラム。

都市を考える④

『多国籍化する西成の街』

西成区の外国人風景は長らく在日コリアンの集住する鶴見橋商店街の西側、キムチや韓国物産の店舗や韓国、朝鮮の教育施設などに代表されてきた。民族学級を初めて市教委から勝ち取った長橋小学校の長橋方式は1972年のスタートから50年が経った。1学年数クラスあった規模も今や1クラスのみ。高齢化で所謂オールドカマーである特別永住の在留資格を有する外国人は2022年9月時点で2777人、ニューカマーを含む韓国・朝鮮籍人口は3422人で、どちらも減少が続いている。

ところが2015年頃から新たな外国人の存在が知られるようになった。かれらが生み出す新しい風景といえば、飛田本通り商店街で軒を連ねる中国人経営のカラオケ居酒屋。今や商店街を席巻し、中華風ぼんぼりもアーケードを彩る。また北津守を中心とする北西部では中国人の一戸建て居住が増えている。日本語学校が区内にいくつか立地し、ベトナム人を中心に東南アジアから南アジアの多国籍な留学生が、登下校や昼休み時に街を行きかう。ベトナム系のショップやレストランの開業ラッシュも目を見張る。

多国籍な人々の集住化のしるしとして祝祭行事は重要だ。2022年9月浪速区で開催されたベトナム人による中秋の祭りには、幼少期や学齢期の子どもを連れた若い家庭が驚くほど多く参加した（大阪ベトナム友好協会の中秋節報告http://osakavietnam.xii.jp/trungthu2022.html）。また、西成区北西部にも多くのインドネシア人が集うモスクが登場した。

こうした外国人居住の新しいうねりを外国人居住率で確認しよう（表参照）。東京の23区と全国の指定都市の大都市部で見ると西成区は11・1％と4位、全市区町村を入れても8位であり、浪速区や中央区、生野区と並んで全国でも有数の外国人居住地域だといえる。

資料 年月 項目	在留外国人統計 2022年6月 総数（A）	住民基本台帳 2022年1月 総人口（B）	外国人比率 (A/B)
大阪市生野区	27,482	125,700	0.219
大阪市浪速区	9,719	71,265	0.136
東京都新宿区	38,739	341,222	0.114
大阪市西成区	**11,642**	**104,747**	**0.111**
横浜市中区	16,187	152,191	0.106
名古屋市中区	9,190	89,654	0.103
東京都豊島区	27,497	283,342	0.097
神戸市中央区	13,417	138,464	0.097
東京都荒川区	18,788	215,543	0.087
大阪市中央区	9,297	108,628	0.086

外国人居住率上位10の東京23区および指定都市の行政区

在留資格別では「留学生」が3042人と一番多い。かれらが西成区に住むようになった背景にはこんなエピソードがある。豊中市の御堂筋線沿いにある専門学校の日本語教育コースの担当教員によると、生徒の7割は西成区から通っている。家庭訪問に行って本人が不在でも、近所のおばちゃんたちが「あの子はどうだ、こうだ」とよく生活を知っていて、すごく人情を感じるとのこと。生徒のほうも受け入れられやすい地域柄に安心感をもっており、1DKでもシェアできたり家賃も安かったりと西成は人気の街だ。また留学生にとって欠かせないアルバイトはミナミが多く、通学の行き帰りにあるため、専門学校進学以前の日本語学校の時から西成区に住み続けているのが多いそうである。

一般に、東南アジアから南アジアの留学生は日本語学校には都合4年在籍するそうで、そのため来日最初の4年間は西成区で暮らすことになる。この20歳代の留学生3042人（男女比はほぼ拮抗）は大阪市24区中のトップであり、西成区の人口増の最大の牽引者である。西成の利便性が功を奏しているが、学卒後も継続して居住してくれるかどうかがカギになる。

ハンプティ・T

［安田拓也］数年前に撮って回った路地写真を見返すと、様々な表情を見せてくれ面白い。幅の狭い路地に植木鉢や自転車が互いに気遣い置かれ、ゴミ一つ落ちてない。行き届いた管理と感心。

［福井龍磨］祖母が96歳の誕生日を迎えた。生年は元号が変わったばかりの1927（昭和2）年で、2月に大正天皇の葬儀があった。当時の人々は、これから始まる昭和という時代にどんな夢を託したのだろう。

葉っぱの吐見（といき）

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。

「偽もの葉っぱ」の巻

本もののってなんだろう。とつぜん思う。
偽もののってなんだろう。つづけて思う。
本ものだから幸せなの。いや違うでしょ。
偽ものだから不幸なの。それはまちがい。
本ものだってたくさん悩むでしょ。
偽ものだってじっくり考える。
本もののらしく気取るでしょ。
偽もののらしく。澄ましかお。
結局どちらも似ているのかな。

赤井まゆみ

今月の葉っぱはブロックで出来ています。本ものにまけていませんね。

皮算用 胸算用

２月２日付『中日新聞』朝刊のコラムで、フィリピン入管当局の収容所における日本人容疑者の振る舞いと西成区のある地域の様子が対比されていた。その文章は「犯罪者も潜伏できる街」という言葉を引いて西成の悪い印象を読者に与えるものの、何のための対比か意図をはかりかねる内容になっている。中日新聞の発行部数は約200万部。多くの人に「西成はこわい」といったネガティブな印象を不用意に伝えてしまった。

これは、『別冊フレンド』事件（1996）、バラエティ番組『アメトーーク』での不適切発言（2019）に連なる“西成差別”に他ならない。私たちはそのたびにマスメディアの社会的責任を問い適切な対応を求めてきた。５日付の同コラムで配慮の欠如を詫びているが、メディアに携わる者の意識の低さに辟易する。西成に住む私たちは中日新聞社を許すことはできない。今後の対応は区役所と連携して考えていきたい。

（寺本良弘）

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちで皮算用していることを語っていくよ。

いい湯かげん

もう差別はしない

２月３日、荒井首相秘書官が記者レクでＬＧＢＴ（性的少数者）の人たちのことを「隣に住んでいるのは嫌だ、見るのも嫌だ」などと差別発言して大問題になった。翌４日、岸田首相は秘書官を更迭したが、その前の国会質問で、ＬＧＢＴ問題は家族観、価値観など「社会が変わってしまう」問題だと答弁し、野党の追及を受けていた。

さらに、自民党の西田政調会長代理は「差別の禁止や法的な措置を強化すると、人権侵害など逆の問題が出てくる」とＬＧＢＴ法案を牽制し、林外相は、世界の関心も高くＧ７議長国として説明責任があると言明したが、「国の事情は一概ではない」と付言することを忘れなかった。これらは一連で、岸田首相は、秘書官の差別発言は政府方針と異なると言うが、そうではない。

打ち明けた話、ボクもそうだったが、「ＬＧＢＴ」の意味も知らないまま差別または同調してきた苦い経緯を持っている人は多いはずだ。思い出すと後悔の念でいたたまれなくなる夜もある。ところが、政治の中枢を担う人々はボクたち国民よりも一層ひどい偏見に囚われているのかと驚かされたわけだ。記者レクに立ち会った記者とマスコミが「オフレコ破り」との圧力に屈せず毅然と行動したのは良かった。当事者の抗議の意思も正当に報じてくれたから、俄然、政治焦点化してきた。

荒井秘書官は官僚トップの次官候補と言われたほどらしいが、差別発言というより差別憎悪にさえ感じる発言をする人がこのまま国家公務員を続けていいのかとさえ疑う。首相官邸での秘書官たちの醜悪な会話も想像されて不快になる。西田議員の見解からは、ＬＧＢＴ法から「差別禁止」を骨抜きにする、いつもの手の込んだ「政治の差別」が透けて見える。これは許してはいけない所為だ。岸田首相は、残念ながら自民党内には西田議員のような偏狭もあって、「社会」というより「自民党」を変える自信がないと率直に述べたのだと思う。ボクは安倍さんと岸田さんは違うと思いたい。ここは首相の決断を後押しできないものかと歯痒い。

自民党一強の下で、ＬＧＢＴ法案を「理解の促進」と誤魔化すのか、「差別の禁止」と踏み込むのか、がいま焦点となっている。政治に対して、国民は時に評論的になることもあるが、ここはそうはいかないのではないか。「もう差別はしない、したくない」という反省から政治の動向を見つめたいものだ。野党だって差別をしてきた、傍観してきた時もあったはずだ。結党の精神にＬＧＢＴ差別禁止を謳った政党をボクは知らない。いつから、なぜ、「変わらないといけない」と思ったのかを率直に語りかけてくれた方が共感できる。そして「差別禁止法をつくる」と言い切ってほしいものだ。

釈迦に説法かもしれないが、敗戦から78年、曲がりなりにも戦争のない日本を守ってきたのは、「ふたたび過ちは繰り返しません」という反省の力だったと思う。そんな思いでＬＧＢＴ差別禁止法や同性婚法をつくりたい。

冨田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

[若松司]ずいぶん前に読んだ小説を読み返した。今のほうがおもしろく読める。でも、何をおもしろいと感じているのかわからない。響きが残ってるというかんじ。『枯木灘』

[山村裕太]生まれてはじめてレシピ本を買いました。やる気が１％あれば、作れる簡単料理レシピが盛りだくさんです。確かに簡単やねんけど、米が５分くらいで炊ける炊飯器ないかな。

地域の縁を心でつなぐ

松向寺さんの心の時間

「何でこんな目にあうんや。俺、何か悪いことしたか?」と一人娘を事故で失った檀家の男性。最近「親ガチャ」という言葉を知りました。自分にコントロール出来ない要素で人生が決まることを「○○ガチャ」と言うそうです。かねがね人生とは「運と縁と実力」で成り立つと考えてきましたので、「運と縁」と解すれば否定は出来ません。しかしこの男性に「運と縁で失ったのだ」と説くのは正しくはあっても間違っている気がして到底言えそうにありません。

ありがたいことに、仏教には「神話の知」という科学的ではないけど人を救ってきた「物語」があります。通夜で「再び会える世界」を物語るたびに実感するのです。僧侶の役割は、別れを告げる儀式と思われがちな、お葬式を「会うことが秘められた儀式」に仕上げることにある、と。

先日、この男性が「また娘と会えるなら頑張らなあかんな」と言ってくれました。娘を失った悲しみを消し去ることは出来なくても「神話の知」には生きる希望を与える力があるのです。

松向寺　通法

ココドコ?

ここはドコ?
わたしはダ〜レ?
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開!

1階、2階ともに閉まったシャッターが並ぶ、ひとつづきの建物。ちょっと寂しい雰囲気です。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで!正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします（先着10名様限り）。回答期限は3月末日、ふるってご回答ください!

［先月号の答え］ 阪堺電車の今船駅でした!グラフィティアートプロジェクト「西成WAN」の活動で、2021年に描かれたようです。

ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか?お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 3月号（vol.193）
発行日：2023年 3月 1日（創刊日：2007年 1月 1日）
発行：株式会社ナイス
住所：大阪市西成区長橋 3-6-33
電話：06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

（株）ナイス
ホームページ

編集長：若松司
編集：飯澤峰生、沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太（あいうえお順）
イラスト：hidarimaki　デザイン：谷口円